

令和4年度 国語 現代文B シラバス

単位数	3 単位	学 級	第2 学年A～H組
教科書	精選 現代文B【改訂版】(三省堂)	副教材等	完成日本文学史ノート 三訂版(京都書房)

1 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	随想	最初のペンギン	<ul style="list-style-type: none"> ・「最初のペンギン」を例示した筆者の意図を推論する。 ・不確実さに立ち向かうことと創造性との関連について考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・課題の提出
5	評論	ミロのヴィーナス	<ul style="list-style-type: none"> ・着眼点の鋭さによって、よく知られた具体的な事例が抽象的に深められていくおもしろさを味わう。 ・筆者の考えを参考にして、人間にとって「手」とはどのようなものであるかについて考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・課題の提出 ・漢字テスト
中間考査				
6	小説	山月記	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の基本的な読み方を習得する。 ・すぐれた短編小説の持つ緊密な構成や文体を読み味わう。 ・小説を自己の問題に引きつけながら読む姿勢を養う。 ・主人公の性格や生き方を鏡として、自分の中にあるかもしれない「虎」について振り返り、思索を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・課題の提出 ・小テスト ・漢字テスト
7	評論	木の葉と光	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の提唱する環世界の具体的、抽象的概念を理解する。 ・筆者の意図を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・課題の提出
期末考査				
9	詩歌	永訣の朝	<ul style="list-style-type: none"> ・詩にこめられた作者の思いについて理解を深める。 ・宮沢賢治の作品や生き方について、関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・課題の提出 ・漢字テスト
		短歌	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌の形式と作者についての理解を深める。 ・短歌を読んで感じたことを自由に発表する。 ・短歌を自作する。 	
10	評論	戦争の不可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、表記や表現に込められた意図を理解し、要旨を的確に捉える。 ・戦争に対する見方を深め、それに対する自分の考えをまとめたり、発表したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・課題の提出 ・漢字テスト
中間考査				

11	小説	ころ	<ul style="list-style-type: none"> 近代の代表的な小説を読むことによって、近代という時代や、時代と人間との関係について理解を深める。 小説に描かれた人間の心理をじっくり読み込む。 主人公の心情を自分に引きつけて理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 課題の提出 漢字テスト 	
12	評論	スポーツとナショナリズム	<ul style="list-style-type: none"> スポーツとナショナリズムの結びつきを的確に理解する。 筆者の主張に関連した社会事象について押し広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 課題の提出 	
期末考査					
1	小説	レキシントンの幽霊	<ul style="list-style-type: none"> 場面の展開に沿って、登場人物の性格や心情を読み取る。 比喩表現に注意して、物語の意味することを話し合う。 優れた描写やイメージにより生まれる効果を考える。 同作者の作品を比較し、その共通点や相違点等について話し合う。 文章の構成や展開を理解して要旨を的確に捉える。 対立する論理が何を意味するかの確にとらえる。 日本の近代化の根源的問題について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 課題の提出 漢字テスト 	
2	評論	青が消える		<ul style="list-style-type: none"> 「である」と「する」と 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 課題の提出
3					
学年末考査					

3 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して其の向上を図ろうとしている。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

4 評価の方法

定期考査を重視し、漢字テストや各種提出物の内容を加味し、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

担当者の指示や説明をよく聞いて、積極的に授業に参加し、ノートをしっかりと取る。また、課題プリントなどの提出については、必ず期限を守る。辞書や国語便覧を用意しておく。

令和4年度 国語 古典A シラバス

単位数	2 単位	学 級	第2学年A～H 組
教科書	高等学校 標準古典A 物語選 (第一学習社)	副教材等	完成日本文学史ノート三訂版(京都書房) 三訂版わかる・読める・解ける古文単語330(いっぴぐな書店)

1 学習の到達目標

古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	物語(一)	伊勢物語 「初冠」	<ul style="list-style-type: none"> 比較的短い歌物語を読んで、古文に親しむ。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 歌物語における和歌の役割を理解する。 助動詞について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習態度 発問評価 指名音読 課題の提出
5	随筆	徒然草 「よるづのことは頼むべからず」	<ul style="list-style-type: none"> 随筆を読んで作者の思想や感情を読み取り、人間、社会などについて考察する。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 優れた表現を読み味わう。 引用された漢籍について理解し、日本文化と中国文化の関係について考える。 助動詞について理解する 	
	漢文 故事・寓話	「嬰逆鱗」	<ul style="list-style-type: none"> 短めの文章を読んで漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 	
中間考査				
6	物語(一)	大和物語 「姨捨」	<ul style="list-style-type: none"> 比較的短い歌物語を読んで、古文に親しむ。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 歌物語における和歌の役割を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習態度 発問評価 指名音読 課題の提出
	物語(二)	大鏡 「弓争ひ」 (太政大臣道長)	<ul style="list-style-type: none"> 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう。 戯曲的な構成を理解し、内容を的確に捉える。 敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	
7	漢文 故事・寓話	「画竜点睛」 「推敲」	<ul style="list-style-type: none"> 短めの文章を読んで漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 否定・假定・使役などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 故事や寓話にこめられた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。 	
期末考査				
9	随筆	方丈記 「ゆく川の流れ」 「安元の大火」	<ul style="list-style-type: none"> 随筆を読んで作者の思想や感情を読み取り、人間、社会などについて考察する。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 優れた表現を読み味わう。 無常観について理解し、日本文化の特質を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習態度 発問評価 指名音読 課題の提出
10	日記	蜻蛉日記 「泔坏の水」	<ul style="list-style-type: none"> 日記を読んで、作者の思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察する。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 	
	漢文 三国志の世界	「水魚之交」 (十八史略)	<ul style="list-style-type: none"> 少々長い文章を読んで、漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 魏・呉・蜀三国の興亡についての概要を知る。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 反語・否定(二重否定)などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。 	
中間考査				

10	随筆	枕草子 「中納言参り給ひて」	<ul style="list-style-type: none"> 随筆を読んで、作者の思想や感情を読み取り、人間、社会などについて考察する。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 優れた表現を読み味わう。 助詞・助動詞について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出
11	日記	更級日記 「門出」	<ul style="list-style-type: none"> 日記を読んで、作者の思想や感情を読み取り、人間、社会などについて考察する。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 助動詞について理解する 	
12	漢文	項羽と劉邦 「鴻門之会 項羽、大いに怒る」 (史記)	<ul style="list-style-type: none"> 長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 漢楚の興亡についての概要を知る。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 	
期末考査				
1	物語(三)	源氏物語 「光る君誕生」 (桐壺)	<ul style="list-style-type: none"> 長編物語を読んで、話のおもしろさを理解する。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 和歌を含む物語を読んで、物語における和歌の役割を考える。 敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出
2	漢文	項羽と劉邦 「鴻門之会 剣の舞」 (史記)	<ul style="list-style-type: none"> 長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 漢楚の興亡についての概要を知る。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 	
3				
学年末考査				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	古典を進んで学習し、伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。
読む能力	古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察したり、古典特有の表現を味わったりする態度を身に付けている。
知識・理解	古典を読むために必要な、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。

4 評価の方法

定期考査を基本に、学習態度、ノートなど提出物の完成度、提出期限を考慮して、総合的な評価をする。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

担当者の指示や説明をよく聞いて、積極的に授業に参加し、ノートをしっかりと取る。また、提出物については、内容に漏れがないことを確認の上、必ず期限を守る。授業の前に必ず辞書や国語便覧を用意すること。

令和4年度

地歴公民

世界史B

シラバス

単位数	3単位	学級	第2学年A～H組
教科書	改訂版 詳説世界史（山川出版社）	副教材	最新世界史図説タペストリー（帝国書院）

1 学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	先史の世界 オリエントと地中海世界	世界史の扉 人類の出現、文明の歩み 古代オリエント世界 ギリシア世界	気候変動や砂糖の歴史などから世界史を考えてみる。 人類が自然環境に適応しながら文明を築いたことを理解する。 オリエント文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。 エーゲ文明ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
5	アジア・アメリカの古代文明	ローマ世界 インドの古典文明 東南アジアの諸文明	都市国家から大帝国に発展したローマ世界世界の特質を理解する。 インド文明の成立と発展、独自の宗教・社会を理解する。 東南アジアの地理的特質を把握し国家形成の過程を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
中間考査				
6	東アジア世界の形成 イスラム世界の形成と発展 ヨーロッパ世界の形成と発展	中国の古典文明 南北アメリカ文明 北方民族の活動と中国の分裂 東アジア文化圏の形成 イスラム世界の形成 イスラム世界の発展 イスラム文明の発展 西ヨーロッパ世界の成立	東アジアの地理的特質を把握し、中国文明の起源、殷周の成立から秦漢帝国の動向までを理解する。 先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色を理解する。 東アジアにおける北方遊牧民族の動向と、三国時代から魏晋南北朝という中国の分裂と動乱に時代を理解する。 隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備やその動向を理解する。 イスラム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラム帝国の形成を理解する。 トルコ系民族がムスリムとの連携を維持しながらイスラム世界を拡大させたことを理解する。 イスラム文明の特質を理解する。 ゲルマン人移動後、封建社会が形成されていったことを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
7		東ヨーロッパ世界の成立	ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化、スラブ人の自立の過程を理解する。	
期末考査				
9	東アジア世界の展開 アジア諸地域の繁栄	東アジア諸地域の自立化 モンゴルの大帝国 東アジア世界の動向 清代の中国と隣接諸地域	遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替、宋の興亡と社会文化の特色を理解する。 モンゴル帝国の興亡と諸地域に与えた影響の大きさを理解する。 明朝の動向とともに、朝鮮や日本など東アジアの状況を理解する。 清朝の形成した領域支配とともに東アジア世界の状況を理解する。 イスラム帝国の動向と社会や文化の特質を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
10	近世ヨーロッパの形成 近世ヨーロッパ世界の展開	ヨーロッパ世界の拡大 ルネサンス 宗教改革 主権国家体制の形成 重商主義と啓蒙専制主義	ヨーロッパ体制の拡大と、それにもなう社会の変化を理解する。 宗教改革とその拡大、カトリック教会の対応を理解する。 主権国家体制の特色と、体制の形成に向かう諸国の内乱や戦争の動向を理解する。 ヨーロッパ主権国家の動向を重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
中間考査				

10		ヨーロッパ諸国の海外進出 17・18世紀のヨーロッパの文化と社会	ヨーロッパ諸国の植民地争奪と国際的な枠組みの構築を理解する。 この時代のヨーロッパ文化の特色を理解する。	
11	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 欧米における近代国民国家の発展	産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命とナポレオン ウィーン体制の成立 ヨーロッパの再編 南北アメリカの発展	産業革命の背景と展開、資本主義体制の確立について理解する。 アメリカ独立革命の経過と影響を理解する。 両革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。 ウィーン体制の成立と体制下のヨーロッパ諸国の状況を理解する。 クリミア戦争以降の国際秩序の再編、イタリア・ドイツの国民国家の形成過程、ロシア・オーストリアの皇帝手動の近代化を理解する。 アメリカ合衆国の発展の状況を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
12	アジア諸地域の動揺	オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 東アジアの激動	オスマン帝国支配の動揺と改革、アラブ民族の状況を理解する。 ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動揺と改革、日本台頭を理解する。	
期末考査				
1	帝国主義とアジアの民族運動 二つの世界大戦	帝国主義と列強の展開 世界分割と列強の対立 アジア諸国の改革と民族運動 第一次世界大戦とロシア革命 ベルサイユ体制	帝国主義の特質と欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。 欧米列強による世界各地の分割と従属させられた地域の社会の状況を理解する。 欧米の支配を受けるアジア諸国の改革と民族運動を理解する。 国際秩序の変化と20世紀の変動の起点となったことを理解する。 この時期の欧米諸国の動向を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
2	冷戦と第三世界の独立	アジア・アフリカの民族運動 世界恐慌とファシズム 第二次世界大戦 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 冷戦の激化と日本の経済復興 米ソの歩みより 世界経済の再編	アジア、アフリカの民族運動を理解する。 欧米列強の動向と国際的な緊張の高まりを理解する。 大戦に至る過程と戦争規模の拡大を理解する。中国やアジア地域の独立の過程を理解する。 米ソ中心の冷戦体制が成立し、東西陣営に分裂したことを理解する。 冷戦の激化と雪解けの始まりによる政治・経済の多極化を理解する。 冷戦終結と世界経済の再編を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
3	現在の世界	社会主義諸国の変容 地域紛争の激化と深刻化する貧困 現代文明の特徴	ソ連邦をはじめとする社会主義諸国の変化を理解する。 各地で多発する地域紛争と貧困の状況を理解する。 現代文明の特質や問題を理解する。	
学年末考査				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
思考・判断・表現	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性、複合性や現代世界の特質を多面的、多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用・技能	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択する。
知識・理解	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら知識を身に付ける。

4 評価の方法

定期考査を基準に、通常の授業での取り組みや提出物、課題などを加味して総合的に判断する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

過去から現在までの変化の筋道を知って、現在及び未来の諸問題の解決の糧としよう。

令和4年度 地理歴史 日本史A シラバス

単位数	2 単位	学 級	第 2 学年 A～H組
教科書	改訂版 日本史A (山川出版社)	副教材等	最新日本史図表 (第一学習社)

1 学習の到達目標

我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 開国と明治維新	1、開国と幕末の動乱 2、明治維新と富国強兵	日本が国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、開国から明治維新に至る過程を考察する。 明治新政府の国家統一と中央集権化、文明開化から欧米の文化・思想の影響、自由民権運動から立憲国家の成立など近代国家形成過程を考察する。	中間考査の記述 課題等提出物の内容 授業の態度
5	第2章 立憲国家の成立	3、立憲国家の成立と日清戦争	政府の強力な中央集権体制志向の中、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について考察する。	中間考査の記述 課題等提出物の内容 授業の態度
中間考査				
6		4、日露戦争と国際関係 5、近代産業の発展 6、近代文化の発達	開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連づけて考察する。 立憲体制成立後から桂園時代にいたるまでの国内政治の動きを政党と藩閥の対立と協力の視点から考察する。 日清・日露戦争前後にかけて資本主義の基礎が確立され、産業革命や近代産業の発展とそれに伴う社会問題の発生への政府の対応について考察する。 伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性を持って成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。	期末考査の記述 課題等提出物の内容 授業の態度 期末考査の記述 課題等提出物の内容 授業の態度
7	第3章 第1次世界大戦と日本	1、政党政治の展開	第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。	
期末考査				
9		2、ワシントン体制 3、経済・社会の変容	第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察する。 ワシントン体制に至る国際協調体制の進展など国際環境の推移と日本の立場について考察する。 民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣成立までの意義について考察する。	中間考査の記述 課題等提出物の内容 授業の態度
10		4、市民文化 1、恐慌の時代	大衆社会の基盤の成立、都市化や国民生活の変化を踏まえて、市民文化の特色について考察する。 戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺から社会主義運動の高揚と国家主義運動の台頭について考察する。	中間考査の記述 課題等提出物の内容 授業の態度
中間考査				

10		2、軍部の台頭	五・一五事件から二・二六事件にかけて軍部の影響力が増大していく過程を考察する。	期末考査の記述課題等提出物の内容授業の態度
11	第5章 第2次世界大戦と日本	1、日中戦争と統制経済	国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など第二次世界大戦と日本の関わりについて考察する。	期末考査の記述課題等提出物の内容授業の態度
		2、第2次大戦と大東亜戦争	大戦の勃発と終戦までの推移を理解させ、戦後の世界体制の構築に関係していることを考察させる。	
12	第6章 占領下の日本	1、占領と改革	戦後のGHQによる占領政策・民主化政策について考察する。また、日本国憲法の制定の意義を理解する。	
		2、冷戦の開始と講和	東アジアの情勢の変化を踏まえ、連合国による占領の終結と日本の独立した意義とその後の日米関係について考察する。	期末考査の記述課題等提出物の内容授業の態度
期末考査				
1	第7章 経済繁栄と保守長期政権	1、55年体制	独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでを考察する。	学年末考査の記述授業の態度
		2、経済復興から高度成長へ	朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長と消費革命がもたらしたひずみである社会問題について考察する。	
2	第8章 現代の世界と日本	1、冷戦終結と日本社会の動揺	高度経済成長が終焉し、保守政権が動揺する中、2度の石油危機を乗り越え経済大国となった日本を多角的・多面的に考察する。	
3			多角的・多面的に考察する。	
学年末考査				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。
思考・判断・表現	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
知識・理解	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。

4 評価の方法

定期考査を基礎に、レポート・プリントなどの課題やノート提出などの状況を総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

本校では2年生全員が日本史Aを履修するようになりました。日本史Aで扱う範囲は幕末から現代までで、比較的詳細な内容で実施します。現代の社会問題に直結した事柄も学習しますので、興味を持ったら自分で調べることをしてください。

令和4年度 数学 数学Ⅱ シラバス

単位数	4 単位	学 級	第2学年ABCDEFGH組
教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅱ (数研出版)	副教材等	4STEP 数学Ⅱ+B (数研出版)

1 学習の到達目標

いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ, 基本的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに, それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 式と証明	第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明	<ul style="list-style-type: none"> 乗法公式や二項定理及び因数分解の公式を用いて式の展開や因数分解をすることができるようにする。 実数の性質, 絶対値の性質, 相加・相乗平均の関係などを用いて等式や不等式が成り立つことを証明することができるようにする。 	定期考査の成績, 小テスト, プリント, 授業ノート, 学習ノート, レポートなどの提出物の内容, 学習活動への参加の仕方等
5	第2章 複素数と方程式	第1節 複素数と2次方程式の解	<ul style="list-style-type: none"> 数を複素数まで拡張し, 四則計算ができるようにする。また, 2次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について調べていく。 	
中間考査				
6	第3章 図形と方程式	第2節 高次方程式 第1節 点と直線	<ul style="list-style-type: none"> 因数定理について理解し, 簡単な高次方程式の解を因数定理などを用いて求めることができるようにする。 座標平面上の図形を方程式で表し, 2直線の位置関係, 円と直線の位置関係などを調べていく。 	定期考査の成績, 小テスト, プリント, 授業ノート, 学習ノート, レポートなどの提出物の内容, 学習活動への参加の仕方等
7		第2節 円	<ul style="list-style-type: none"> 図形を与えられた条件をみたくす点の集合としてみる考えを身につけ, 図形を式で表現したり, 式の表す領域を求めたりする。 	
期末考査				
9		第3節 軌跡と領域	<ul style="list-style-type: none"> 軌跡について理解し, 不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりする。 	定期考査の成績, 小テスト, プリント, 授業ノート, 学習ノート, レポートなどの提出物の内容, 学習活動への参加の仕方等
10	第4章 三角関数	第1節 三角関数 第2節 加法定理	<ul style="list-style-type: none"> 弧度法による角度の表し方や扇形の面積の求め方などについて理解する。また, 三角関数について, 相互関係などの基本的な性質や周期性をもつそのグラフの特徴について理解する。 三角関数の加法定理を理解し, 公式や三角関数の合成に活用できるようにする。 	
中間考査				

10	第5章 指数関数と対数関数	第1節 指数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解する。指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用することができるようにする。 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができるようにする。また、対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用することができるようにする。 	定期考査の成績, 小テスト, プリント, 授業ノート, 学習ノート, レポートなどの提出物の内容, 学習活動への参加の仕方等
11		第2節 対数関数		
12		第2節 対数関数		
期末考査				
1	第6章 微分法と積分法	第1節 微分係数と導関数	<ul style="list-style-type: none"> ・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍, 和及び差の導関数を求めることができるようにする。 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ, グラフの概形をかくことができるようにする。 ・不定積分及び定積分の意味について理解し, 定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができるようにする。 	定期考査の成績, 小テスト, プリント, 授業ノート, 学習ノート, レポートなどの提出物の内容, 学習活動への参加の仕方等
2		第2節 関数の値の変化 第3節 積分法		
3		第3節 積分法		
学年末考査				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	数学的活動を通して、式と証明、高次方程式、いろいろな関数及び微分・積分における考え方に興味を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に進んで活用しようとする。
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、式と証明、高次方程式、いろいろな関数及び微分・積分における数学的な見方や考え方を見出そうとしているか。見出した数学的な見方や考え方をもとに事象を捉え、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えているか。
数学的な技能	式と証明、高次方程式、いろいろな関数及び微分・積分において、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、よりよく問題を解決する。
知識・理解	式と証明、高次方程式、いろいろな関数及び微分・積分における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。

4 評価の方法

定期考査の成績, 小テスト, プリント, 授業ノートなどの提出物の内容, 学習活動への参加の仕方や態度などで総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

予習復習を大切にし、授業に臨んでください。

令和4年度 数学 数学B シラバス

単位数	2 単位	学 級	第2学年数学B選択者
教科書	高校数学 数学B(数研出版)	副教材等	4STEP 数学Ⅱ+B (数研出版)

1 学習の到達目標

平面上および空間上のベクトル、数列、数学的帰納法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 平面上のベクトル	課題学習	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルを理解する。 ベクトルの演算を理解する。 ベクトルの成分を理解する。 	定期考査の成績、小テスト、プリント、授業ノート、学習ノート、レポートなどの提出物の内容、学習活動への参加の仕方等
5	第1章 平面上のベクトル 中間考査	4.ベクトルの内積	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの内積を理解する。 問題演習 	
6	第1章 平面上のベクトル 第1章 平面上のベクトル	5.位置ベクトル 6.ベクトルの図形への応用 7.図形のベクトルによる表示 6.ベクトルの図形	<ul style="list-style-type: none"> 位置ベクトルを理解する。 ベクトルと図形の間係を理解する。 空間ベクトルを理解する。 	定期考査の成績、小テスト、プリント、授業ノート、学習ノート、レポートなどの提出物の内容、学習活動への参加の仕方等
7	第2章 空間のベクトル 期末考査			
9		5.ベクトルの図形への応用 6.座標空間における図形 発展 平面の方程式	<ul style="list-style-type: none"> 平面の方程式を理解する。 	定期考査の成績、小テスト、プリント、授業ノート、学習ノート、レポートなどの提出物の内容、学習活動への参加の仕方等
10	第3章 第3章 数列 中間考査	1.数列と一般項 2.等差数列 3.等差数列の和	<ul style="list-style-type: none"> 等差数列を理解する。 等差数列の和を理解する。 	

10	第3章 数列	4.等比数列 5.等比数列の和研究,複利計算	・等比数列を理解する。	定期考査の成績,小テスト,プリント,授業ノート,学習ノート,レポートなどの提出物の内容,学習活動への参加の仕方等
11	第3章 数列	6.和の記号 Σ 7.階差数列 8.いろいろな数列	・和の記号 Σ を理解する。 ・階差数列を理解する。	
12	第3章 数列	8.いろいろな数列 問題演習	・いろいろな数列を理解する。	
期末考査				
1	第3章 数列	9.隣接2項間の漸化式 10.数学的帰納法	・隣接2項間の漸化式を理解する。 ・隣接3項間の漸化式を理解する。 ・数学的帰納法を理解する。	定期考査の成績,小テスト,プリント,授業ノート,学習ノート,レポートなどの提出物の内容,学習活動への参加の仕方等
2	第4章 確率分布と統計的な推測	1. 確率分布	・確率変数と確率分布を理解する。 ・確率変数の期待値と分布を理解する。	
3	第4章 確率分布と統計的な推測	1. 確率分布	・確率変数の和と積を理解する。	
学年末考査				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	ベクトル、数列、数学的帰納法の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、ベクトル、数列、数学的帰納法における数学的な見方や考え方を身に付けている。
数学的な技能	ベクトル、数列、数学的帰納法において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
知識・理解	ベクトル、数列、数学的帰納法における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。

4 評価の方法

期考査の成績,小テスト,プリント,授業ノート,学習ノート,レポートなどの提出物の内容,学習活動への参加の仕方や態度などで総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

論理的な思考力育成のため、問題を解く過程を重視した授業展開を心掛ける。

令和4年度 理科 物理基礎 シラバス

単位数	2 単位	学 級	第2学年 物理基礎選択者
教科書	改訂新編物理基礎（東京書籍）	副教材等	四訂版 リードLightノート物理基礎(数研出版)

1 学習の到達目標

- 1 物理的な事物・現象に対する探究心を高める。
- 2 目的意識をもって観察・実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につける。
- 3 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につける。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1編 物体の運動とエネルギー	2章 力と運動の法則 ⑪力とは ⑬力の合成と分解 ⑫力のつり合い	<ul style="list-style-type: none"> 力とは何か、力を見つけるにはどうするかを理解する。 ベクトルとスカラーの違いについて理解し、ベクトル和(力の合成)の方法について理解する。質量と重さの違いについて理解する。 【実験1】力の合成 <ul style="list-style-type: none"> 力の三要素と作用線について理解し、力のつり合いの条件を考察する。【実験2】力のつり合い 斜面上の力学について、その考え方を理解し、自分でできるように演習する。 作用反作用の補足を理解し、つりあう力との違いを指摘できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取組(観察・実験の取組等) 提出物(授業プリント、実験プリント等) 定期考査
5		<ul style="list-style-type: none"> 斜面上の力学について、その考え方を理解し、自分でできるように演習する。 作用反作用の補足を理解し、つりあう力との違いを指摘できるようにする。 		
中間考査				
6	1編 物体の運動とエネルギー	⑱摩擦力 1章 直線運動の世界 ①速さ ②速度 ③等速直線運動 ④合成速度と相対速度 ⑤加速度 ⑥等加速度直線運動 ⑦等加速度運動2	<ul style="list-style-type: none"> 静止摩擦力、最大摩擦力、動摩擦力の違いについて理解し、その大きさを求める方法を習得する。 【実験3】静止摩擦係数の測定 直線運動を表現する方法を学ぶ。 速さと速度の違いをベクトルとスカラーで理解する。 ベクトルとしての速度を合成する。 運動の相対性について学ぶ。 加速度について理解をする。 実際に等加速度運動を再現し、そのデータを解析する。 【実験4】一定の力による運動と自由落下運動 等加速度直線運動の公式を理解し、応用して問題演習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取組(観察・実験の取組等) 提出物(授業プリント、実験プリント等) 定期考査
7				
期末考査				
9	1編 物体の運動とエネルギー	⑧自由落下 ⑨鉛直投射 ⑩水平投射	<ul style="list-style-type: none"> 重力を受けて運動する重力運動について理解する。 鉛直方向の運動について、特に投げ上げ運動の考え方を理解する。 ガリレイの重力運動の考え方について考察する。 水平投射について応用して扱えるようにする。 【実験5】水平投射 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取組(観察・実験の取組等) 提出物(授業プリント、実験プリント等) 定期考査
10	1編 物体の運動とエネルギー	2章 力と運動の法則 ⑮慣性の法則 ⑯力と質量と加速度の関係 ⑰運動の法則 ⑲抵抗力と浮力	<ul style="list-style-type: none"> ガリレイの慣性原理、ニュートンの慣性の法則を正しく理解する。 運動の第二法則を実験的に導く。 【実験6】運動の第二法則 空気抵抗力を正しく理解する。 浮力の原理を理解する。 	
中間考査				

10	1編 物体の運動とエネルギー	3章 仕事とエネルギー ⑩仕事 ⑪仕事の原理と仕事率	<ul style="list-style-type: none"> 「仕事」の意味を理解し、具体的に計算をする。 仕事の原理を理解する。 仕事の処理速度が、仕事率であることを理解する。 【実験7】仕事率の測定	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取組(観察・実験の取組等) 提出物(授業プリント、実験プリント等) 定期考査
11	2編 さまざまな物理現象とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ⑫運動エネルギー ⑬重力による位置エネルギー ⑭弾性力による位置エネルギー 	<ul style="list-style-type: none"> 運動エネルギー 運動エネルギーを数式で表す。 位置エネルギー 重力と弾性力による位置エネルギーを理解する。 	
12		<ul style="list-style-type: none"> ⑮力学的エネルギー保存 1章 熱 ①熱と温度 ②物質の三態 ③熱の移動と保存 ④熱と仕事 ⑤熱効率と不可逆変化 	<ul style="list-style-type: none"> 力学的エネルギーの保存 力学的エネルギーは保存されることを理解する。 熱量保存の法則から、比熱の概念を導入する。 【実験8】金属の比熱の測定 <ul style="list-style-type: none"> 熱現象の特異性について考察する。 	
期末考査				
1	2編 さまざまな物理現象とエネルギー	2章 波	<ul style="list-style-type: none"> 波動の基礎理論として、波の種類や伝わり方を学び、その表現方法を習得する。 波の重ね合わせの原理を用いて、合成波を作図する。 波の反射によって生じる定常波を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取組(観察・実験の取組等) 提出物(授業プリント、実験プリント等) 定期考査
2		<ul style="list-style-type: none"> ⑥いろいろな波 ⑦波の伝わり方 ⑧波を表す ⑨波の重ね合わせ ⑩定常波 ⑪波の反射 ⑫音の伝わり方 ⑬振動する弦 ⑭振動する気柱 	<ul style="list-style-type: none"> 波の具体例として音波を扱う。音の伝わり方を学ぶ。 弦楽器や管楽器の理論を、物理的に解析する。 【実験9】弦の振動	
3		3章 電気	<ul style="list-style-type: none"> ⑮電流と電気抵抗 	
学年末考査				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動(演習・実験など)に積極的に参加したか。 提出物の作成に意欲的に取り組んだか。 集中して授業を受けたか。 科学技術の在り方やエネルギー問題について関心を持ち、話し合いや探究活動などに意欲的に参加したか。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 思考の「過程」を評価する。思考過程が物理的に正しいかどうかを評価する。 実験レポートなどが科学的根拠に基づいて述べられているか。 実験から得られた事実、Webなどから得た情報、自分の考えをはっきりと区別できているか。 実験レポートの表現が図や表で適切か。
観察・実験の技能	<ul style="list-style-type: none"> 観察・実験を安全に遂行できたか。 データの取り方が適切であったか。 グラフを正しく有効に活用できているか。 それぞれの操作の意味を理解して正確に遂行できたか。 データの処理が適切であったか。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 主に定期テストの成績に基づいて評価する。 実験レポートでは、学習した内容が正しく理解され、知識となっておりちゃんとレポートに反映されているかどうかを見る。

4 評価の方法

観察・実験等を含めた授業への取組、授業ノート・課題・実験プリント等の提出物及び定期考査を総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

- 自然現象になぜそのような現象が起きるのか、不思議の種を見つけるとともに、その原理についても興味を持ちましょう。
- 授業や観察・実験には意欲的に取り組みましょう。授業がすべてです。
- 自分の頭で考えることが重要です。考えながらプリントをまとめていきましょう。丸暗記は意味ありません。

令和4年度 理科 生物基礎 シラバス

単位数	2 単位	学 級	第2学年 A～H組
教科書	改訂版 生物基礎(数研出版)	副教材等	改訂版 スタディアップノート生物基礎(数研出版)

1 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識を持って観察、実験を行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な考え方を養う。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1編 生物と遺伝子 第1章	1 生物の多様性と共通性 2 エネルギーと代謝	<ul style="list-style-type: none"> 生物の特徴の1つに挙げられる、多様性と共通性について学ぶ。 「実験」細胞の観察 エネルギーと代謝の関係性とエネルギー通貨として働くATPについて理解する。 	授業ノート 実験レポート 授業中の発言等
5		3 光合成と呼吸	<ul style="list-style-type: none"> 酵素の性質を理解する。 光合成と呼吸の学習を通して、生物が代謝によってエネルギーを取り出していることを学習する。 「実験」マイクロメーターの使い方 	授業プリント 実験レポート 授業中の発言等
中間考査				
6	第2章 遺伝子とその働き	1 遺伝情報とDNA	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子の反対であるDNAについて、構造および遺伝情報は塩基配列にあることを理解させる。 	授業プリント 授業中の発言等
7		2 遺伝情報の発現 3 遺伝情報の分配	<ul style="list-style-type: none"> 転写と翻訳から生命現象において重要なタンパク質の合成について学習する。 遺伝情報は正確に複製されて受け継がれること、それぞれの細胞ではすべての遺伝子が発現しているわけではないことについて学習する。 DNAの模型の作成 	授業プリント DNA模型 授業中の発言等
7		3 遺伝情報の分配	<ul style="list-style-type: none"> 「実験」染色体の観察 	実験レポート
期末考査				
9	第2編 第3章 生物の体内環境	1 体液という体内環境	<ul style="list-style-type: none"> 体内環境と恒常性について学習する。 体液とその循環および血液の凝固について学習する。 	授業レポート 実験レポート 授業中の発言等
10		2 肝臓と腎臓	<ul style="list-style-type: none"> 腎臓と肝臓の構造と働きについて学習する。 「実習」ペーパー人体模型をつくる。 	授業レポート 実験レポート 授業中の発言等
中間考査				

10		3 神経とホルモンによる調節	・自律神経及びホルモンの働きについて学習する。	授業プリント ペーパー人体模型 実験レポート 授業中の発言等
11		3 神経とホルモンによる調節 4 免疫	・ホルモンと自律神経による調節を理解する。 ・免疫について学習する。	授業プリント 実験レポート 授業中の発言等
12		4 免疫	・免疫の仕組みについて学習する。	授業プリント 授業中の発言等
期末考査				
1	第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生の多様性と分布	1 様々な植生 2 植生の遷移 3 気候とバイオーム	・植生について、その構造や遷移の仕組みについて学習する。 ・バイオームの分布は温度と降水量によって決まることを学習する。	授業プリント 授業中の発言等
2	第5章 生態系とその保全	1 生態系 2 物質循環とエネルギーの流れ 3 生態系のバランス	・生態系の成り立ち、生態系における物質循環とエネルギーについて学習する。 ・生態系のバランスの仕組みを学習する。	授業プリント 授業中の発言等
3		5 人間活動と生態系の保全	・地球レベルの環境問題を取り上げて自然環境の保全の大切さを理解する。	授業プリント 授業中の発言等
学年末考査				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な考え方や見方を身に付けている。
思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見出し、探究する過程を見出して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から評価基準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

1回目の授業時に配布するプリントに記載してある。

令和4年度 理科 地学基礎 シラバス

単位数	2 単位	学 級	第2学年 地学基礎選択者
教科書	新編 地学基礎 (数研)	副教材等	リードLightノート地学基礎 改訂版 (数研)

1 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い地学的に探求する能力と態度を育てるとともに地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	序編 惑星としての地球	第1章 太陽系の中の地球 1. 太陽系の天体 2. 地球の誕生	<ul style="list-style-type: none"> 太陽系の中の地球, 46億年の時間の中の現在の位置を理解する。 地球型惑星と木星型惑星の違いを理解する。 太陽からの距離が適切であったことが生命の誕生につながったことを理解する。 	授業プリント 実習レポート
5		第2章 地球の形と大きさ 1. 地球の形と大きさ	<ul style="list-style-type: none"> 地球の正確な形について学ぶとともに、その調べ方について理解する。 	授業プリント 実習レポート
中間考査				
6	第1編 活動する地球	第3章 地球の構造 第1章 プレートの運動とそれに伴う現象 第2章 火山 第3章 地震と地殻変動	<ul style="list-style-type: none"> 地球の内部構造は構成物質や状態の違いから、層構造をしていることを理解する。 地震や火山など地球のダイナミックな活動について、プレート運動に基づいて理解する。 海嶺、海溝、大山脈がプレートの結果形成されたことを理解する。 火山はプレートの運動を関連して、プレート境界に多く分布することを理解する。 地震の揺れのもと断層運動により生じた波であることを理解させ、地震や火山などの災害について理解し、被害を少なくする方法を学ぶ。 	授業プリント 実習レポート
7			<ul style="list-style-type: none"> 震源の位置を特定する方法について、その原理を理解する。 	
期末考査				
9	第2編 移り変わる地球	第1章 地層の形成	<ul style="list-style-type: none"> 太陽放射エネルギーと重力による位置エネルギーがどのように地形の変化や堆積作用にかかわっているかを理解する。 地層の重なり方や変形の様子を観察する方法や、それがどのようなしくみでできあがったかを理解する。 	授業プリント 実習レポート
10		第2章 古生物の変遷と地球環境	<ul style="list-style-type: none"> 地学における地層と化石の役割を理解し、現在の生命につながる生物の進化について学ぶ。 地球と生命の歴史をひもとく、地球と生命の関係の理解を深める。 	授業プリント 実習レポート
中間考査				

10			・生物界や地球環境の変遷と、それを調べる方法及び地質時代の区分の時間的なスケールを理解する。	
11	第3編 大気と海洋	第1章 地球の熱収支	・ヒトの進化を扱いながら、ヒトの歴史的存在としてみる見方を身につけさせる。 ・大気圏の構造とともに、太陽の放射エネルギーによる地球の熱収支について理解する。	授業プリント 実習レポート
12		第2章 大気と海水の運動	・太陽の放射エネルギーが大気の運動を生じさせ、気象の変化を起こしたり、熱収支のバランスを保ったりすることを理解する。 ・海洋も大気と同様に熱収支のバランスにとって重要であることを理解する。	
期末考査				
1	第5編 地球の環境	第1章 環境と人間	・気候変動のような時間スケールの大きな現象を考える場合は、大気と海洋、雪氷を含む地表を全地球的にとらえることが必要である。いくつかの断面からの例を総合して環境問題をとらえさせる。	授業プリント 実習レポート
2	第6編	第2章 日本の自然環境	・日本の自然環境の特徴を知るとともに、そこで起こっている災害を理解する。	
3		第1章 太陽と恒星	・太陽のエネルギー源や構造、太陽の活動のようすなどについて学ぶ。 ・恒星の性質を分析する方法や恒星の進化の過程や時間的スケールを理解する。	授業プリント 実習レポート
		第2章 宇宙のすがた	・ビッグバンによる宇宙の誕生を理解し、宇宙の構造を知る。	
学年末考査				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、地学的な事象・現象を一連の時間の流れの中でとらえるなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。
思考・判断・表現	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見いだし、探求する過程を通じて、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。
知識・理解	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から評価基準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

- ・言葉を覚えるのではなく、自然現象をトータルに理解するように努めること。
- ・授業及び実験・実習には前向きに取り組み、質問ができるように心がける。
- ・定期考査直前だけでなく平素から学習し、地学について理解を深めるように心がける。
- ・ノートは整然ととり、板書事項だけでなく、考えたことも含めて自分なりのノートをつくる。

令和4年度 保健体育 体育 シラバス

単位数	3 単位	学 級	第2学年A～H組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

1 学習の到達目標

運動の合理的、計画的な実践を通じて、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	A 体づくり運動 C 陸上競技 E 球技 G ダンス H 体育理論	A 体づくり運動は、年間を通じて7～10時間実施	・「体づくり運動」心と体は互いに影響して変化することに気づき、心身の状態に応じて調子を整える、仲間と積極的に交流するために運動を行う。	スキルテスト、授業レポート、授業態度、出席、授業への取り組み、ルール理解、約束事の徹底、準備、片付け、各種目の特性の理解、安全の確保
5		C 陸上競技(ア 競走)	・「陸上競技」スタート動作、スタートダッシュの動きを変化させることができる。後半の加速も意識させる。	
6		E 球技(ア ゴール型/イ ネット型/ウ ベースボール型)	・「球技」状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。	
		G ダンス(ア 創作ダンス ウ 現代的なリズムのダンス)から②以上選択	・「ダンス」感情を込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれの特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。	
7	H 体育理論は、年間を通じて6時間実施	・「体育理論」体育とスポーツの違いや、スポーツの歴史、現代スポーツの特性を理解する。		
9	A 体づくり運動 C 陸上競技 E 球技 G ダンス H 体育理論	A 体づくり運動は、年間を通じて7～10時間実施	・「体づくり運動」心と体は互いに影響して変化することに気づき、心身の状態に応じて調子を整える、仲間と積極的に交流するために運動を行う。	スキルテスト、授業レポート、授業態度、出席、授業への取り組み、ルール理解、約束事の徹底、準備、片付け、各種目の特性の理解、安全の確保
10		C 陸上競技(ア 競走)	・「陸上競技」スタート動作、スタートダッシュの動きを変化させることができる。後半の加速も意識させる。	
	11	E 球技(ア ゴール型/イ ネット型/ウ ベースボール型)	・「球技」状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。	
12		G ダンス(ア 創作ダンス ウ 現代的なリズムのダンス)から②以上選択	・「ダンス」感情を込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれの特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。	
		H 体育理論は、年間を通じて6時間実施	・「体育理論」体育とスポーツの違いや、スポーツの歴史、現代スポーツの特性を理解する。	

1	A 体づくり運動 C 陸上競技 H 体育理論	A 体づくり運動は、年間を通じて7～10時間実施 C 陸上競技(ア 競走) H 体育理論は、年間を通じて6時間実施	・「体づくり運動」心と体は互いに影響して変化することに気づき、心身の状態に応じて調子を整える、仲間と積極的に交流するために運動を行う ・「陸上競技」自己のスピードを把握し、高めることができるか。目標を達成するために継続的に走り続けることができるようにする。自分のみならず、他人も励まして活動できるようにする ・「体育理論」体育とスポーツの違いや、スポーツの歴史、現代スポーツの特性を理解する。	スキルテスト、授業レポート、授業態度、出席、授業への取り組み、ルールを理解、約束事の徹底、準備、片付け、各種目の特性の理解、安全の確保
2	A 体づくり運動 E 球技 H 体育理論	A 体づくり運動は、年間を通じて7～10時間実施 E 球技(ア ゴール型/イ ネット型/ウ ベースボール型)①選択 H 体育理論は、年間を通じて6時間実施	・「体づくり運動」心と体は互いに影響して変化することに気づき、心身の状態に応じて調子を整える、仲間と積極的に交流するために運動を行う ・「球技」状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。 ・「体育理論」体育とスポーツの違いや、スポーツの歴史、現代スポーツの特性を理解する。	
3	A 体づくり運動 E 球技 H 体育理論	A 体づくり運動は、年間を通じて7～10時間実施 E 球技(ア ゴール型/イ ネット型/ウ ベースボール型)①選択 H 体育理論は、年間を通じて6時間実施	・「体づくり運動」心と体は互いに影響して変化することに気づき、心身の状態に応じて調子を整える、仲間と積極的に交流するために運動を行う ・「球技」状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。 ・「体育理論」体育とスポーツの違いや、スポーツの歴史、現代スポーツの特性を理解する。	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して自主的に取り組むこととする。
思考・判断	生涯にわたって豊かなスポーツライフの実現をめざし、自他の課題に応じた運動に取り組むことができる。また、体力向上のために運動の計画も工夫できる。
運動の技能	運動の合理的な実践を通じて、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。
知識・理解	運動技能の名称や実施方法、課題解決・ルール、安全の確保、スポーツの歴史、文化的特性や現代スポーツの特徴、スポーツライフ設計の仕方を理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断、技能及び知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

運動の得意・不得意に関わらず自分のできることを最大限発揮すること。
体調管理を徹底すること。

令和4年度 保健体育 保健 シラバス

単位数	1 単位	学 級	第2学年
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館書店)

1 学習の到達目標

個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	生涯を通じる健康	1、思春期と健康 2、性意識と性行動の選択 3、結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・女性と思春期、心と健康に関して学習する ・性意識の変化と異性の尊重、性情報と性行動に関して学習する ・心身の発達と結婚生活、家族の健康に関して学習する 	定期考査の成績、小テスト、プリント、授業ノート、学習ノート、レポートなどの提出物の内容、学習活動への参加の仕方等
5	生涯を通じる健康	4、妊娠・出産と健康 5、家族計画と人工妊娠中絶 6、加齢と健康 7、高齢者のための社会的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・受精、妊娠、出産に関して視聴覚教材を用いて学習する ・家族計画の意義と避妊方法について学習する ・加齢にともなう心身の変化について学習する ・高齢者の健康課題とその支援について学習する 	
6	生涯を通じる健康	8、保健制度とその活用 9、医療制度とその活用	<ul style="list-style-type: none"> ・保健行政の役割と健康づくりに関して学習する ・医療制度と医療保険の仕組みに関して学習する 	
7	生涯を通じる健康	10、医薬品と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の種類と使い方に関して学習する 	
期末考査				
9	生涯を通じる健康	11、様々な保健活動や対策	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりのための活動に関して学習する 	定期考査の成績、小テスト、プリント、授業ノート、学習ノート、レポートなどの提出物の内容、学習活動への参加の仕方等
10	社会生活と健康	1、大気汚染と健康 2、水質汚濁・土壌汚染	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の原因に関して学習する ・水質汚濁と健康影響に関して学習する 	

11	社会生活と健康	3、健康被害の防止と環境対策	・環境汚染の防止とその対策に関して学習する	定期考査の成績, 小テスト, プリント, 授業ノート, 学習ノート, レポートなどの提出物の内容, 学習活動への参加の仕方等
12	社会生活と健康	4、環境衛生活動のしくみと働き	・ごみの処理、上下水道の整備に関して学習する	
期末考査				
1	社会生活と健康	5、食品衛生活動の仕組みと働き 6、食品と環境の保健と私たち	・食品の安全性、行政の役割に関して学習する ・食品の安全、環境と保健に関して学習する	定期考査の成績, 小テスト, プリント, 授業ノート, 学習ノート, レポートなどの提出物の内容, 学習活動への参加の仕方等
2	社会生活と健康	7、働くことと健康 8、労働災害と健康	・働くことと健康の関わりに関して学習する ・労働災害とその防止、安全管理と健康管理のしくみについて学習する	
3	社会生活と健康	9、健康的な職業生活	・職場における取組と日常生活における取組を学習する	
学年末考査				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	現代社会と健康について、自己の健康を適切に管理し、また環境を改善していくことに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
思考・判断	健康の課題を解決するために知識を活用した学習活動により、総合的に考え、判断し、それらを表している。
知識・理解	健康を保持増進するための課題の解決に役立ち自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解の観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

毎回の授業を大切に、積極的に参加すること。
健康について様々な面から学び、生涯を通して自他の健康を保持増進するための資質や能力を身につけること。

令和4年度 芸術 音楽Ⅱ シラバス

単位数	2 単位	学 級	第2学年音楽選択者
教科書	高校生の音楽2 (教育芸術社)	副教材等	

1 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	・スタート！2年生の音楽	・校歌 ・日本の歌	・正しい音程で歌い、歌唱表現を楽しむ。 ・曲種や曲想に合った発声のしかたを工夫する。	・授業態度 ・グループ発表
5	・リズムアンサンブルに挑戦 ・ギターに挑戦	・リズムアンサンブル ・ギター	・リズムの変化によって多様なアンサンブル表現の可能性を知る。 ・リズムの特徴を生かし、表現方法を工夫する。 ・ギターの基本的な奏法を学び、表現の工夫に取り組む。	・授業態度 ・机間指導
	・拍子のいろいろ	・拍子について	・拍子と音符の関係を理解し、五線紙へ書き表す。	
6	・コードネームを使ってみよう	・和音	・和音の仕組みやコードネームについて理解する。	・授業態度 ・五線ノート ・授業態度 ・ワークシート ・筆記テスト
7	・いろんなドレミ	・音階	・音階の仕組みについて理解する。	
9	・ヴァイオリンに挑戦	・ヴァイオリン演奏	・ヴァイオリンの基本的な奏法を学び、表現の工夫に取り組む。	・授業態度 ・机間指導 ・ワークシート
10	・弦楽器の名曲たち ・ギターアンサンブルに挑戦	・弦楽器の名曲と作曲家について ・クラシックギターによる三重奏	・弦楽器の原理を知り、その名曲と作曲家について ・コード伴奏について学び、表現の工夫に取り組む。 ・ギターの音色や奏法の特徴と表現上の効果との関わりを考える。	・授業態度 ・机間指導 ・チェックシート

10				
11	・混声合唱に挑戦	・混声合唱	・歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、曲想を感じ取り、イメージをもって、楽曲にふさわしい速度、強弱などを考える。	・授業態度 ・ワークシート ・筆記テスト
12	・世界の音楽に親しもう	・世界の声の音楽や楽器について	・世界の諸民族の様々な声の音楽や楽器から音楽文化の固有性、日本音楽との共通性を考える。	
1	・伴奏をつくらう	・旋律にふさわしい伴奏を創作する	・コードネームを理解し、曲の構成や雰囲気にならざる伴奏を創作する。 ・創作した伴奏を五線紙に書き表す。	・授業態度 ・ワークシート ・机間指導
2	・変奏曲の魅力を知ろう	・変奏曲の特徴と技法について	・主題の変化や作品の特徴について知り、伴奏づくりへ生かす。	・授業態度 ・ワークシート ・筆記テスト
3	・発表と鑑賞	・発表会	・創作した伴奏を発表し、鑑賞する。	

3 評価の観点

音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。
音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。

4 評価の方法

音楽への関心・意欲・態度、音楽表現の創意工夫、音楽表現の技能及び鑑賞の能力の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

音楽の授業は、積極的に取り組むことで技術が向上します。ただ演奏するだけではなく、表現する気持ちや音楽を楽しむ気持ちを大切にしてください。また、音楽理論は、生涯にわたり音楽を楽しむためにも、ぜひ身に付けてもらいたい力です。基礎からしっかりと学んでいきましょう。

令和4年度 芸術科 美術Ⅱ シラバス

単位数	2 単位	学 級	第2学年選択者
教科書	高校生の美術2（日本文教出版）	副教材等	

1 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的経験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	色彩の基礎・自画像の鑑賞 「A表現(1)絵画・彫刻」 「B鑑賞」	・色彩 ・鑑賞の方法 ・絵画	・ガイダンス ・導入ワークショップ Google Arts&Cultureを使って様々な作品を鑑賞する ・色彩の基礎 ・混色ワークショップ	・クロッキー帳 ・WS作品 ・プリント ・制作過程 ・作品 ・研究レポート
6 7	油彩画による自画像 「A表現(1)絵画・彫刻」 「B鑑賞」	・デッサン ・油絵具の扱い ・自画像のエスキース	・形のとり方 ・画面構成の意図 ・構造の理解 ・他者からみた私と私の違いを考えるワークショップ ・エスキース作成	・クロッキー帳 ・制作過程 ・作品
9 10	油彩画による自画像 「A表現(1)絵画・彫刻」 「B鑑賞」	・絵画 ・油彩画の道具	・モチーフ(自己)の見方 ・下塗 ・油彩画制作 ・油彩画仕上げ	・クロッキー帳 ・制作過程 ・作品

11	牛革を使ったブックデザイン 「A表現(2)デザイン」 「B鑑賞」	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞 装飾デザイン 牛革の加工 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の美しいブックデザインを鑑賞する 牛革の特性と加工の方法について学ぶ 図案を考える 	<ul style="list-style-type: none"> クロッキー帳 制作過程 作品
12		<ul style="list-style-type: none"> 革細工 	<ul style="list-style-type: none"> 革細工の道具の扱い方 	
1	牛革を使ったブックデザイン 「A表現(2)デザイン」 「B鑑賞」	<ul style="list-style-type: none"> 牛革の加工 製本 	<ul style="list-style-type: none"> 紙を裁断し、本の中身を作る 糸で綴じ、製本する 飾り縫い、染色などで革を仕上げる 本と革を合わせる 	<ul style="list-style-type: none"> クロッキー帳 制作過程 作品 鑑賞レポート
2				
3	グループ発表 「B鑑賞」	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> 作品を展示し、発表・鑑賞する 	

3 評価の観点

美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。
鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

4 評価の方法

美術への関心・意欲・態度、発想・構想の能力、創造的な技能及び鑑賞の能力の4観点から評価基準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

1年次より専門性のある内容と、分野を掘り下げた学習をしていきます。自分の表現を見つけるためには、世の中にあふれる作品や芸術的な作品、表現者の人物像や制作された時代背景、画材や材料の特性、道具の正しい扱い方などの知識が必要です。まずは表現の土台となる知識をしっかり補っていきます。授業内だけでなく、普段から自分の興味を広げたり、あらかじめ調べたりする必要があります。一つ一つ丁寧に手を動かしながらしっかり考えを巡らせていけば、いつの間にか技術と自分の心に向き合う力が身につくはずです。

令和 4 年度 芸術科 書道Ⅱ シラバス

単位数	2 単位	学 級	第2学年選択者
教科書	書道Ⅱ（東京書籍）	副教材等	

1 学習の到達目標

書道の創造的な諸能力を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	漢字の学習	篆書の学習	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の成立を学習し、書について理解と関心を深める。 篆書の種類、甲骨文、金文、小篆、印篆を知る。また篆書の多様性と現代に生きる表現を知る。 極、一般的な篆書の特徴・用筆法を理解し表現する。 	授業態度 ワークシート
5	篆刻	篆刻の学習 姓名印を彫る	<ul style="list-style-type: none"> 篆刻の用具・用材や創作の手順について理解する。 印面整備を行い、印面を平らにする。 略式印稿と本式印稿を作成する。 	授業態度 作品の提出
6	篆刻	篆刻の学習 姓名印を彫る	<ul style="list-style-type: none"> 適切な運刀法を身に付ける。 押印に習熟する。 	授業態度 作品の提出
		(1) 隸書の学習	<ul style="list-style-type: none"> 隸書の書体の特徴や書体の変遷について理解を深める。 	
7	隸書	(2) 隸書の学習	<ul style="list-style-type: none"> 「礼器碑」の概要と書風について理解する。 「礼器碑」の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について学び、臨書する。 	授業態度 作品の提出・ノート提出 出席状況
9	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書の名筆の鑑賞 俳句を題材とした作品の創作	<ul style="list-style-type: none"> 漢字仮名交じりの書を鑑賞し、自らの鑑賞力を深める。 文学としての俳句の理解を深め、親しむ。 手本を選び、分析する。 	授業態度 作品提出
10	漢字仮名交じりの書	学習してきた古典を生かした表現	<ul style="list-style-type: none"> 創作の準備と手順を知る。 漢字仮名交じりの書では運筆のリズム、漢字と仮名の調和、潤渇の変化、余白を含む章法の重要性を理解する。 創作の構成や字形を構想し、工夫して表現する。 	授業態度 作品提出

11	漢字仮名交じりの書	創作してみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・落款と押印の位置。余白との兼ね合いを考える。 ・漢詩5字句を隷書を用いて創作する。 	授業態度 ワークシート 作品提出
	漢字の創作(書き初め)	漢字を題材とした創作		
12	書き初め	漢字を題材にした創作	<ul style="list-style-type: none"> ・章法を考慮した作品制作をする。 	出席状況 ワークシート ノート提出 作品提出
1	修了作品の制作	色紙への創作	<ul style="list-style-type: none"> ・二年間学んだ古典から習得した技法や表現方法を生かし、作品を制作する。 ・選文、字調べ ・色紙に、漢字作品を一点、漢字仮名交じりの書を一点創作する。 	授業態度 出席状況 ノート提出 ワークシート 作品提出
2	修了作品の制作	色紙への創作	<ul style="list-style-type: none"> ・押印をし、創作作品を完成させる。 ・作品のキャプションづくりを行う。 	
3	修了作品の制作	色紙への創作	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞会を開く。 	

3 評価の観点

書への関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
書表現の構想と工夫	書の良さや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付けようとしている。
鑑賞の能力	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを創造的に味わっている。

4 評価の方法

- ・表現を工夫して表した成果(作品)
 - ・表現の意図・構想・表現の工夫の取り組みの記録(ワークシート)
 - ・発言や作品制作への取り組み状況
 - ・学習活動への参加状況
- 一年間の評定は、これらの内容を総合的に判断する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

芸術の書道は、ただ上手に書ければ良いというものではありません。理論に裏打ちされたしっかりした方法論のもと、最終的に自らの作品を自らの表現方法で表すことができるようにする事が最終目標です。また普段書いている硬筆を上手に書きたいという人も多いと思います。授業で学習する「いかに美しく文字を書くか」ということを実践していけば、徐々に美しく書けるようになります。基礎基本を大切にしながら先を睨んでじっくりと取り組んでください。

令和4年度 外国語(英語) コミュニケーション英語Ⅱ シラバス

単位数	5 単位	学 級	第2学年A～H組
教科書	「Power On English Communication II (東京書籍)」	副教材等	「Power On English Communication II WORKBOOK」 (東京書籍)

1 学習の到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	Lesson 1 Take a Shot or Not	・It is[was] +形容詞[名詞] +that節 / 関係代名詞what / 現在完了進行形	・写真を撮ることが記憶に与える影響と写真を撮らずに経験を記憶にとどめておく方法について学ぶ。 ・理由を述べる / 説明する / 報告する / 意見や感想を述べる	a b c d
5	Lesson 2 Ethical Fashion	・助動詞+受け身 / 強調構文 / S+V+O[=疑問詞+to不定詞]	・エシカルファッション製品が何に配慮して作られているか学ぶ。また、エシカルになるために重要なことについて学ぶ。 ・例示する / 説明する / 意見や感想を述べる	a b c d
中間考査				
6	Lesson 3 Landfill Harmonic	・関係副詞where / 過去完了形 / S+V [=使役動詞] +O+C[=原形不定詞]	・ランドフィル・ハーモニックが始まった経緯やカテウラの子供たちにもたらしている影響について学ぶ。 ・報告する / 意見や感想を述べる / 経験を述べる	a b c d
6	Lesson 4 Icons of Scotland	・関係代名詞の非制限用法 / S+V [=知覚動詞] +O+C[=現在分詞] / S+appear(s) [seem(s)]+to不定詞	・スコットランドの地理やキルトに関する歴史を理解するとともに、日本と関連する事柄について学ぶ。 ・経験を述べる / 説明する / 報告する / 意見や感想を述べる	a b c d
7	期末考査			
9	Lesson 5 Japan's Secret Health Food	・分詞構文(過去分詞) / 倍数表現 / 直前の文の内容を先行詞とするwhich / 形式目的語it [=to不定詞]	・海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能について学ぶ。 ・説明する / 報告する / 意見や感想を述べる	a b c d
10	Lesson 6 Vegetable Factories	・進行形の受け身 / It appears [seems]+that節 / 未来完了形 / 譲歩を表す副詞節	・野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点について学ぶ。 ・経験を述べる / 理由を述べる / 説明する / 意見や感想を述べる	a b c d
中間考査				
11	Lesson 7 Letters from a Battlefield	・同格を表す接続詞that / 前置詞+関係代名詞/ 関係代名詞whoseの制限用法 / proposeなど+that+S+V[=動詞の原形]	・身の回りで使われている色の視覚的効果と心理的効果について学ぶ。 ・例示する / 提案する / 報告する / 意見や感想を述べる	a b c d

12	Lesson 8 Edo: A Sustainable Society	・付帯状況を表すwith / while[when](+S+be動詞) / to+have+過去分詞 / 助動詞+have+過去分詞	・平野美宇選手と伊藤美誠選手の経歴や彼女たちが成功するために大切だと考えていることについて学ぶ。 ・説明する / 経験を述べる / 気持ちを伝える / 理由を述べる / 意見や感想を述べる	a b c d
期末考査				
1	Lesson 9 From Owning to Sharing	・強調表現(助動詞による強調) / It is[was] said+that節 / 形式目的語it[=that節] / 過去完了進行形	・カーシェアリングの利点と、シェアリングが日本や世界でどのように広がっているかについて学ぶ。 ・経験を述べる / 理由を述べる / 報告する / 意見や感想を述べる	a b c d
2	Lesson 10 Solar Cooking	・be動詞+to不定詞 / wish+仮定法過去 / 関係副詞whereの非制限用法 / 関係副詞whenの非制限用法	・ソーラークッカーの仕組みと歴史、メリットと活用例について学ぶ。 ・経験を述べる / 望む / 報告する / 意見や感想を述べる	a b c d
3				
学年末考査				

3 評価の観点

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションへに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
外国語表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。
外国語理解の能力	英語で聞いたり読んだりして、情報や考えを的確に理解している。
言語や文化についての知識	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

4 評価の方法

1 評価対象: a. 授業に対する意欲 / b. 課題等の提出(内容・態度) / c. 英単テスト / d. 定期考査
2 評価配分: (a + b) 10% / c. 英単テスト10%, 定期考査80% 割合は目安

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

英語は毎日の地道な努力が必要です。毎日の授業を大切に、短時間でもいいから家で復習をしましょう。語彙力もつけないといけません。単語は通学時の電車の中での時間や休み時間等の『隙間の時間』と年6回の英単語テストを活用しましょう。

令和4年度 教員基礎 教育体験Ⅱ シラバス

単位数	1 単位	学 級	第2学年A~H組選択者
教科書	教員をめざそう！	副教材等	

1 学習の到達目標

教育関係の進路を考え、多くの情報を適切に収集し、視野や知見を広げていく。

2 学習の計画

月	単元	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	説明会 オリエンテーション 小集団活動		教員基礎コースについて説明会を実施する。 教員基礎コースの学びについて確認し、自分の考えをまとめる。 小集団でのコミュニケーションの取り方を学ぶ。	
5	教員の魅力		教員の魅力について議論を聞き、自分の考えをまとめる。	報告書の感想等
6	教育実習生から学ぶ 夏季合宿について説明会	説明会 打ち合わせ	教育実習生との座談会を行う。 夏季集中講座について理解する。 夏季集中講座について確認する	報告書の感想等
7	ボランティア活動		教育ボランティアに参加する(希望者) 5月以降学期を通じて実施する。	報告書の感想等
9	夏季集中講座		外部講師による講演を聴講する。	報告書の感想等
	夏季集中講座振り返り	振り返り準備 振り返り会	夏季集中講座で学んだことをアウトプットし、発表準備を行う。 夏季集中講座で学んだことを発表する。 消防署主催の講習会を受講する。	
10	学校現場における 応急手当 学年企画	救急	各学年で規格された内容を実施する。	報告書の感想等
11	せんせいっていいもんだ 千葉大学交流会準備 教育関連後援会 ボランティア活動		千葉県教育委員会事業を実施する。 千葉大学で行われる交流会の準備。 大学に講師を依頼し、教育関連の講演会を実施する。 教育ボランティアに参加する(希望者)	報告書の感想等

12	冬季集中講座説明会 冬季集中講座	説明会 講義	冬季集中講座について確認する 大学の先生の講義を受ける	報告書の感想等
1	冬季集中講座報告会 分科会		冬季集中講座で学んだことをアウトプットし、発表準備を行う。 各教科の先生から、教科指導についての講和を聞く。	報告書の感想等
2	校長講話 まとめ		校長からの講話を聴講する 1年間学んできた内容を振り返り次年度につなげる。	報告書の感想等
3	ボランティア活動		教育ボランティアに参加する。(希望者)	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	教員基礎コースの活動に積極的に参加しようとする
思考・判断	教育現場の状況を判断し、自身のとるべき行動を考える
技能・表現	わかりやすく教える技術を身につける
知識・理解	各教科の知識を備え、子どもの到達度を理解しようとする

4 評価の方法

活動時の取り組み方や報告書により総合的に判断し、記述で評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

「教員基礎コース合宿」「学習行事ボランティア」「火曜日7限の活動」を通じて、教員としての基礎的な素養を身につけていきます。将来、教員にならなかったとしても、ためになる経験になるはずです。積極的な参加を期待しています。
--